

お問い合わせ・応募先

NPO 法人 世界芸術文化振興協会(IFAC) ジュリアード音楽院声楽オーディション by IFAC 係

〒167-0053 東京都杉並区西荻南 2-18-9 菱研ビル 2 階 TEL:03-5336-6870

http://www.ifac.or.jp/







2012年

- ●予選 関東: **7**月 **9**日(月)·**10**日(火) 関西: **7**月**12**日(木)
- ●本選 10月15日(月)ワークショップ **16**日(火) ワークショップ 本選オーディション







- NPO 法人 世界芸術文化振興協会 (IFAC) International Foundation for Arts and Culture(NPO)
- ■共催 /Co-sponsor ジュリアード音楽院 The Juilliard School



IFACより優勝者に、「IFAC・ジュリアード最優秀賞」、もしくは「IFAC・ジュリアード奨励賞」のいずれかが 授与されます。

その他、本選オーディション優秀者に、「IFAC・半田晴久会長特別奨励賞」が授与されます。

「FAC・ジュリアード最優秀賞

ジュリアード音楽院1次試験を合格された方に授与されます。

- 1. 3月にジュリアード音楽院 (ニューヨーク)にて行われる、声楽科入学 2 次試験受験資格 (入学 1 次試験免除)
- 2. ジュリアード音楽院 (ニューヨーク)での、プライベートレッスン受講 (4日~1週間程度)
- 3. ジュリアード音楽院入学 2次試験を受験するための、日本からニューヨークへの渡航費用、 及び宿泊費用(総額 50 万円相当)
- 4. 「英検一級・TOEIC・TOEFL 塾」受講資格 ジュリアード音楽院への入学に必用な TOEFL Score を取得する為の英語レッスン (期限 2013 年 2 月 15 日まで)
- 5. 奨学金 ジュリアード音楽院入学 2 次試験に合格、かつ入学した場合には、1 年間の授業料、 及び寮費として、上限 5 万 ドルの奨学金が授与されます。

IFAC・ジュリアード奨励賞

ジュリアード音楽院1 次試験の合格者が出なかった場合、最優秀者に授与されます。

1. ジュリアード音楽院 (ニューヨーク)での、プライベートレッスン受講 (4日~1週間程度)

Alice tully Hall / Photo by Nan Melville

2. 日本からニューヨークへの往復渡航費用、及び滞在費用(総額 30 万円相当)

◯◯ IFAC・半田晴久会長特別奨励賞

本選には該当しないが、優秀だった方に、さらなる向上心を持ち、再び挑戦して欲しいとの気持ちを込め、 IFAC 半田晴久会長より記念品が贈呈されます。



otel jay onarp model / mote by Band lamb

The results will be announced after the Finals Part 2. The winner will be awarded "IFAC-Juilliard Prize" or "IFAC-Juilliard Encouragement Prize" by IFAC.

Dr. Handa Encouragement Prize also will be awarded to a singer or possibly singers chosen from the finalists.

IFAC-JUILLIARD PRIZE

This prize is for the singer who is recognized not only as the winner of this competition but also as qualifying to proceed to the final audition in NYC for admission to The Juilliard School.

- 1. The winner will be invited to the second-stage (final) audition at The Juilliard School to be held in March 2013.
- 2. The winner will be offered 4-7 days workshops and/or private lessons at The Juilliard School.
- 3. Round-trip air ticket between Japan and NY and accommodation to the value of 500,000 Yen
- 4. Free English course lessons at Eiken-ikkyu/ TOEIC/ TOEFL Juku (until achieving a high enough TOEFL score to enter Juilliard however, until February 15, 2013).
- 5. Scholarship of up to \$50,000 to cover the cost of tuition, room and board for one year If the finalist successfully passes the audition and is accepted into The Juilliard School, the winner will receive the scholarship.

FAC-JUILLIARD ENCOURAGEMENT PRIZE

If the winner of the final part 2 is considered not yet ready to enter The Juilliard School, s/he will be awarded the "IFAC-Juilliard Encouragement Prize"

- I. This winner will be offered 4-7 days workshops and/or private lessons at The Juilliard School in NYC.
- 2. Round-trip air ticket between Japan and NY and accommodation to the value of 300,000 yen will be awardedas an additional prize.

Dr.HANDA ENCOURAGEMENT PRIZE

A singer or possibly singers will be chosen from the finalists.





Juilliard Orchestra at Alice Tully Hall, October 2009; Jennifer Zetlan, soprano; Michael Truesdell, percussion / Photo by Nan Melville

応募について **Application**

●応募資格

日本国籍を持つ日本人で、高校卒業以上(2013年3月卒業予定者も含む)

なお、年齢の上限はありません。

英語を学習する意欲のある方

※ 2 次試験に臨むには、2013 年 2 月 15 日までに TOEFL Score の提出が必要です。 必要な点数は以下のとおりです。

本選通過後、約4ヶ月あります。その間に、必要な方には英語特訓があります。

Graduate Diploma 73 (iBT), writing score 11 以上 Master of Music 89 (iBT), writing score 21 以上

●応募の際に必要な物(受験料は無料)

- (1) 所定の応募用紙
- (2) 推薦状 1 通(審査の対象ではありません)
- (3) 写真 2 枚(縦 5cm× 横 4 cm)
 - 2枚とも裏面に氏名を記入のこと。
 - 1枚は応募用紙に添付し、もう1枚は同封してください。

●応募方法

応募書類一式を下記宛てに郵送してください。

 $\mp 167-0053$

東京都杉並区西荻南 2-18-9 菱研ビル 2 階

ジュリアード音楽院声楽オーディション by IFAC 応募係

●応募書類受付期間

2012年4月2日(月)~6月25日(月)必着

※応募者多数の場合、早期締め切りとなる場合もあります。

※応募用紙、推薦状を受領後、IFAC 事務局から、受験票とオーディション詳細を、6月30日(土)までに お届けします。それまでに届かない場合は、IFAC 事務局までお問い合わせください。

●お問い合わせ

NPO 法人 世界芸術文化振興協会 (IFAC)

TEL: 03-5336-6870 (電話応対: 午前9時~午後6時、土・日・祝除く)

http://www.ifac.or.jp/

応募頂いた方の個人情報は、「第3回ジュリアード音楽院声楽オーディションby IFAC」の選考および本人への連絡用にのみ使用し、本人の同意なく他 の目的では使用致しません。なお、ご提出頂きました写真および応募書類は返却致しませんので、あらかじめご了承ください。



本選

Final Competition

●第1部 ワークショップ

日 時:2012年10月15日(月)・16日(火)14:00~(13:30 開場)

会 場: TOKYO FM HALL

東京都千代田区麹町1丁目7番FMセンター2F Tel.03-3221-0080

課題曲:予選課題曲に同じ

指導・審査員:ブライアン・ジーガー(ジュリアード音楽院声楽科部長)

ピアノ伴奏者:各自が依頼同伴するものとします。

●第2部 オーディション (兼、ジュリアード音楽院入学1次試験)

日 時:2012年10月16日(火) 22:00~(21:30 開場) 会 場: TOKYO FM HALL (第1部ワークショップと同じ)

課題曲:予選課題曲に同じ

ピアノ伴奏者:各自が依頼同伴するものとします。

審査員:ブライアン・ジーガー(ジュリアード音楽院声楽科部長)

ジュリアード音楽院教授陣(ニューヨークと衛星ライブ中継を結び審査)

PARTI: WORKSHOP

Date: Monday, Oct. 15 and Tuesday, Oct. 16, 2012, 14:00~

Venue: TOKYO FM HALL

FM Center 2F, I-7 Kojimachi, Chiyoda-ku, Tokyo Tel.03-322 I-0080

Repertoire: Same as Pre-screening

Accompanist: Please provide for your own accompanist for this audition

Instructor: Dr. Brian Zeger

(Artistic Director of Vocal Arts-The Juilliard School)

PART2: AUDITION (as first-stage audition to The Juilliard School)

Date: Tuesday, Oct. 16, 2012, 22:00~

Venue: TOKYO FM HALL

Repertoire: Same as Pre-screening

Accompanist: Please provide for your own accompanist for this audition

ludges: Dr. Brian Zeger

(Artistic Director of Vocal Arts-The Juilliard School)

The Juilliard School professoriate (Live Broadcast by Satellite)

Both Pre-Screening and Finals will be open to the public.



●関東予選

日 時:2012年7月9日(月)・10日(火)14:00~(13:30 開場)

会 場:浜離宮朝日ホール

東京都中央区築地 5-3-2 Tel.03-5541-8710

●関西予選

日 時:2012年7月12日(木) 14:00~(13:30 開場)

会 場:イシハラホール

大阪府大阪市西区江戸堀 1-3-15 新石原ビル 2 Tel.06-6449-1276

●課題曲

予選では、以下の6曲からご自身で選んだ2曲を歌っていただきます。

本選では、全6曲が審査対象となります。

- 1. 18世紀、またはそれ以前のイタリア芸術歌曲、またはイタリア・アリア
- 2. 英語の芸術歌曲 (原語は英語に限る。英語に翻訳された曲は不可)
- 3. 自由曲(どの言語でもよい)
- 4. オペラ、あるいはオラトリオからのアリア
- 5. ドイツ歌曲
- 6. フランス歌曲

ピアノ伴奏者:各自が依頼同伴するものとします。

●審査員

半田晴久 (IFAC 会長、声楽家)、栗林義信 (声楽家)、マルチェッラ・レアーレ (声楽家) 他

DATE & VENUE

TOKYO Date: Monday, July 9 and Tuesday, July 10, 2012, 14:00~

Venue : Hamarikyu Asahi Hall

5-3-2 Tsukiji, Chuo-ku, Tokyo Tel.03-5541-8710

OSAKA Date: Thursday, July 12, 2012, 14:00~

Venue: Ishihara Hall

Shin-Ishihara Bldg.2, I-3-15 Edobori, Nishi-ku, Osaka Tel.06-6449-1276

AUDITION REPERTOIRE

- I. An Italian art song or aria from 18th century or before
- 2. A song in English (not a translation)
- 3. A third selection in any language
- 4. An aria from an opera or oratorio
- 5. One German Lied
- 6. One French Melodie

Please fill out the six song titles on the application form in advance. At Pre-screening, please select two from this repertoire. (Judges may ask you to stop at any time during singing).

JUDGES

Dr. Haruhisa Handa (IFAC Chairman, Opera singer), Prof. Yoshinobu Kuribayashi (Opera singer), Prof. Marcella Reale (Opera singer)

QUALIFICATIONS FOR APPLYING

A person who should be Japanese citizenship with vocal ability equal to or higher than music college graduation.

A person who is eager to study at The Juilliard School.

A person who has a desire to study English.

*You have to submit TOEFL score to The Juilliard School until February 15, 2013. There are four months till the deadline after the finals. If you need gaining English skills, IFAC provide you intensive English training. The minimum required TOEFL score is:

73 (iBT) with a minimum writing score of II for Graduate Diploma

89 (iBT) with a minimum writing score of 21 for Master of Music

WHAT YOU NEED FOR APPLYING (NO APPLICATION FEE)

- (1) Prescribed application form
- (2) A letter of recommendation
- (3) 2 photos (4cm X 5cm)

**Please fill out your name on the back of the two.

One is attached to the application form, please enclose another.

HOW TO APPLY

Please send the above documents to the address below.

(Mailing Address for Applications)

The International Foundation for Arts and Culture

Bishiken bldg. 2nd floor, 2-18-9 Nishiogi-minami, Suginami-ku, Tokyo 167-0053 Japan

ACCEPTANCE PERIOD APPLICATION FORMS

Monday, April 2 – Monday, June 25

Admission ticket to examination and details about the Pre-screening Audition will be sent to you by June 30.

If you do not receive these documents, please contact IFAC.

FOR MORE INFORMATION

The International Foundation for Arts and Culture

Tel: +81-3-5336-6870 (9am – 6pm Monday – Friday)

http://www.ifac.or.jp/

Personal information on the application form for IFAC-Juilliard Prize Singing Competition will be used only for this audition. All documents you send to IFAC will be used only for the purpose of the audition, and these documents will not be returnable.



最優秀賞を受賞して

第1回 ジュリアード音楽院声楽オーディション by IFAC 最優秀賞受賞者

大西 宇宙



IFACとジュリアード音楽院による、この夢のようなオーディションが、今年もまた開催されますことを、心から嬉しく思っております。

私は、第1回ジュリアード音楽院声楽オーディション by IFAC に合格し、ニューヨーク・ジュリアード音楽院を受験するという、夢のような経験をさせていただきました。日本からジュリアード音楽院に受験できる道を開いていただいた、半田会長には感謝に堪えません。そして、ジュリアード音楽院に入学できたことは、この上ない喜びです。

私がまだ日本で勉強していた時、ジュリアード音楽院は遙か遠くの存在でした。留学するということ自体も、半ばイメージだけで具体化せず、大学卒業後の先が見えず苦労していたのを覚えています。しかし、そんな時に見つけたのが、このジュリアード音楽院声楽オーディション by IFAC でした。

全国から優秀な声楽家を集め、その最終審査を衛星中継で日米同時に行う、という画期的なオーディションは、日本中、いやおそらく世界中どこを探してもないでしょう。

ジュリアード音楽院での学生生活は、素晴らしい音楽家との出会いと、新しい発見の連続です。ジュリアード音楽院は、世界屈指の名門校ですが、中でも声楽科は、音楽家を育成するための総合的なプログラムが、そろっています。世界稀に見る徹底したコーチ陣、そして、きめ細やかな学生に対するケアが施されています。ディクション・コーチは、メトロポリタン歌劇場を始め、世界有数の歌劇場の言語指導をしている、現役のエキスパートです。発声の指導には、世界的な歌手たちを多く輩出してきた、ベテランの声楽教師陣が指導してくださいます。私は幸運にも、これらのエキスパートがサポートするプロダクションに、ソリストとして、3つのオペラに参加する機会をいただきました。学ぶことは、音楽のことだけではありません。世界各国から生徒が集まり、様々な人々と接することで、一流の音楽家として必要な人間性も学ばせていただいています。

ですから、このオーディションにより、私自身のキャリアや経験にも、大きな一歩が刻まれたことは間違いありません。 ジュリアードへの道は長く、確かに険しいものです。しかし、ジュリアード音楽院は、遙か遠いところではありません。 半田会長が門戸を大きく開いてくださったお陰で、日本からかなり近くなっています。ニューヨークでは、日本ではけして 体験できない、何物にも代えがたい素晴らしい宝物がいっぱい詰まっています。

皆様にぜひ、このオーディションをきっかけに、新たな一歩を踏み出していただくことを、心から望んでおります。 そして同志である皆様と、ニューヨークでお会いできるのを、楽しみにお待ちしております。受験者の皆様の幸運を心よりお祈りします。

大西 宇宙

ご挨拶 Greetings

「ジュリアード賞」が創設されましたことは、ジュリアード音楽院にとって、たいへん画期的な出来事です。私はジュリアード音楽院声楽部長として、メトロポリタン・オペラのリンデマン若手音楽家養成プログラム総監督として、またピアニスト、伴奏者として世界各地を公演旅行します。そして、世界のどこへ行っても、アジア出身者、とりわけ日本人声楽家の力量に、深い感銘を受けてきました。日本人は昔から、西洋音楽に驚くべき順応性を発揮してきました。むろん現在も、多くの日本の音楽家が、世界各地で第一級の活躍をしているのは周知の通りです。

ジュリアード賞は、半田晴久博士と世界芸術文化振興協会の、篤志とビジョンにより実現したプログラムです。この賞を通して、最も才能ある日本人若手声楽家を見出し、多くの人の憧れであるジュリアード音楽院入学のために、オーディションを提供するものです。これは将来的に当音楽院にとっても、新たな才能を受け入れる重要な賞となることは間違いありません。また、将来性のある日本人声楽学生や教師にとっても、ジュリアード賞は夢の実現へ向けて大きな励みとなることを確信しています。今秋日本を訪れ、才能あふれる若手声楽家たちの歌声を聞くことを楽しみにしています。

The Juilliard Prize is an exciting and timely new venture for The Juilliard School. In my travels, as Director of the Vocal Arts Program at Juilliard, Executive Director for the Metropolitan Opera's Lindemann Young Artist Development Program, and as a performing pianist and accompanist, I have been consistently struck by the wealth of vocal talent that exists in Asia, particularly in Japan. Japanese musicians have long displayed a wonderful responsiveness to the Western classical music tradition. Many of today's finest performers throughout the world originate from Japan.

The generous and visionary Juilliard Prize, the superb conception for which we must thank Dr. Haruhisa Handa and the International Foundation for Arts and Culture, will prove an important resource for Juilliard as we seek to discover the most talented young singers in Japan and give them an opportunity to audition for a coveted spot among Juilliard's incoming class. Further, it is my profound hope that the existence of the Juilliard Prize will also give Japanese students and their teachers an international perspective while inspiring gifted young people with ambitions to be performing artists to reach for their dreams. I very much look forward to being in Japan this fall to hear these exceptionally talented singers in person.

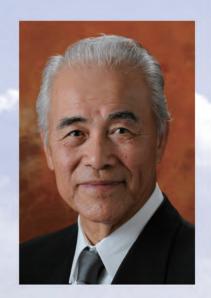


ブライアン・ジーガー ジュリアード音楽院 声楽部長

Dr. Brian Zeger Artistic Director of Vocal Arts The Juilliard School



uilliard Opera, Francis Poulenc, Dialogues des Carmélites, 2010



栗林 義信 NPO 法人 世界芸術文化振興協会芸術 副会長

Prof. Yoshinobu Kuribayashi Vice Chairman - International Foundation for Arts and Culture Opera singer



ご挨拶 Greetings

世界芸術文化振興協会 (IFAC) とジュリアード音楽院が協力し、ジュリアード声楽科 への入学オーディションを日本で開催できることを、大変うれしく思っています。

今まで、何人の日本の音楽家達が、ジュリアードへ挑戦してきたことでしょうか。 私自身、日本の若き声楽家達を、こうしたかたちでジュリアードへ送り出せる日が 来るとは、考えてもみなかったことです。このオーディションの開催により、世界トッ プレベルであるジュリアードへの窓口が日本にできたことは、大変素晴らしいこと です。非常に画期的で、有意義な出来事です。

20世紀初頭に、ジュリアードが創立された当初の目的は、ヨーロッパのコンセル ヴァトワールに負けない学校を作るためだったと伺っております。しかし、いまや ジュリアードは、世界最高レベルの音楽院として、ヨーロッパ諸国をはじめ、世界 中から若き音楽家達がジュリアードに憧れ、集まってきています。

また、ジュリアードは、メトロポリタン・オペラとパートナーシップを組み、若 いオペラ歌手の育成にも力を入れています。日本の才能あふれる若者達が、こうし た世界トップクラスの学校で存分に学び、世界の舞台で活躍するきっかけをつかん でくれれば、これほど嬉しいことはありません。

このオーディションにより、次世代の音楽界を担う素晴らしい芸術家が、一人で も多く世界へ羽ばたいていくことを、心より願っております。皆様の未来の活躍に 期待するとともに、たくさんのご応募をお待ちしています。

I am very glad that the International Foundation for Arts and Culture (IFAC) and The Juilliard School have collaborated to hold auditions in Japan for entry to The Juilliard School to study singing.

Countless Japanese musicians have in the past taken themselves up to the challenge of studying at The Juilliard School. I myself have never even considered that the day would come when we could send off our young singers to The Juilliard School in this way. It is wonderful that these auditions have opened up an avenue in Japan to this world-class school. It is a groundbreaking development of extraordinary significance.

I understand that when The Juilliard School was established early in the 20th century, its aim was to develop into a school to rival the conservatoires of Europe. But now, it is renowned across the world as a musical institution of the highest level and young musicians from the world over, including Europe, aspire to study at The Juilliard School.

The school has also formed a partnership with the Metropolitan Opera and is putting its energies into cultivating young opera singers. There would be nothing more pleasing than to see young talented people from Japan make the most of the opportunity to study at such a top-class school and then flourish on the world stage.

I sincerely hope that with these auditions, as many as possible of the top-level musicians of tomorrow take flight into the world. I look forward to seeing you all apply and I hope your careers flourish into the future.



Receiving the 1st IFAC-Juilliard Prize

The recipient of the highest award in the 1st IFAC-Juilliard Prize Singing Competition by IFAC

Takaoki Onishi



I'm truly delighted that IFAC and the Juilliard School of Music will be holding again this year an audition that is like a dream come true.

I myself experienced such a dream when I passed the 1st IFAC-Juilliard Prize Singing Competition and sat the entrance exam for the Juilliard School of Music in New York. I can't express how thankful I am to Chairman Handa for paving a road for students from Japan to take the entrance exam to the Juilliard School of Music. Being able to attend the Juilliard School of Music has been the greatest experience of my life.

While I was studying in Japan, the Juilliard School of Music seemed like a far and distant place. I could hardly even imagine studying abroad, and after graduating from university, I remember struggling, not knowing my way forward. However, it was during this time when I found out about the IFAC-Juilliard Prize Singing Competition.

Excellent vocalists gathered from across the country and the final judging was broadcast via satellite simultaneously in Japan and the US. Such a groundbreaking audition surely doesn't exist anywhere else in Japan or anywhere else in the world.

Life as a student at the Juilliard School of Music is a continuous succession of meetings with fantastic musicians, and of new discoveries. The Juilliard School of Music is one of the preeminent schools in the world, and its voice department has a comprehensive program for nurturing the talents of musicians. Strong coaches of a level rarely seen in the world conduct their lessons with the utmost care for their students. The diction coach is a working expert who has provided language training to a number of world-renowned opera houses including the Metropolitan Opera House. Voice instruction is provided by a group of veteran vocal music instructors that have trained many global singers. I've had the good fortune to be involved as a soloist in three different opera productions that received the support of these experts. My lessons have not been limited to music. By mingling with a variety of people who have gathered from various countries around the world, I am also learning about the human experience, so vital to a musician of the highest level.

It is undeniable that this audition has made its mark as a great step forward in my own career and experience.

The road to Juilliard is long, and certainly not easy. However, the Juilliard School of Music is not a far and distant place. Thanks to Chairman Handa's opening the door for us, it is not so far from Japan. A wealth of valuable and wonderful experiences that you couldn't find in Japan is waiting in New York.

I truly hope that you will use this audition as a launch point for a new journey, and I look forward to meeting likeminded people like you in New York. I wish all of the auditioning musicians the very best of luck.



Takaoki Onishi

素晴らしいオーディションに参加して

第2回 ジュリアード音楽院声楽オーディション by IFAC 最優秀賞受賞者

竹下みず穂



今回思いがけなくも最優秀賞を頂いたことは、この上ない喜びです。それにも増して、このオーディションを通じて明確な目標ができ、ニューヨークに留学する事ができました。この素晴らしい機会を作ってくださった、IFAC半田会長には、本当に感謝しております。誠に、ありがとうございました。

ジュリアード音楽院を受験して、強く感じたことは、このオーディションは、私が考えていた以上に価値があるということです。主催の方々とジュリアード音楽院の先生方は、歌い手のことと未来の音楽のことを、真剣に考えているのです。

本選のワークショップで、ジュリアード音楽院のブライアン・ジーガー氏らが強調されたことで、印象に残っているのが「歌い手の人間性を重要視していること」と、「常に聴衆との関係を考えること」ということでした。「歌い手の人間性は、必ず歌う姿勢に現れる」、そして「音楽家が聴く人(社会)との関係を深めることで、芸術は社会に貢献できる」という考え方は、歌い手として身が引き締まる思いがしました。

さらに驚いたのは、実際にジュリアード音楽院の教授が来日して、公開レッスンを受講できることです。予選通過者 一人ずつ指導してくださり、年齢制限も参加費もなく、音楽を志す全ての人たちに大きな機会が与えられているのです。 また、一般公開されており、受験生にとって緊張は大きいですが、より聴衆との関係を感じられる貴重なオーディション でした。

私は、様々なコンクールや試験に挑戦し、なかなか良い結果に恵まれないときもありました。しかし、続けていれば、きっと新しい扉は見つかるとの周りの声に励まされて、このオーディションにチャレンジしたところ、数々の幸運が重なって、今、新たな世界に進むチャンスをいただけることになりました。音楽的なことだけではなく、私のライフスタイルに関わる大切なことも、このオーディションで学ぶことができました。

今後も歌を愛する多くの方々が、この素晴らしい機会を得られることを願ってやみません。音楽を通して自分を磨き、 社会と触れ合う同士が増えることは、私にとって大きな喜びになります。臆せず、恐れず、ぜひとも挑戦してみてください。 きっと何か新しい発見があることと思います。

最後に、これまで私を支え、応援してくださっている皆様方、そしてこのオーディションに関わってくださった、全て の温かな皆様に、感謝の意をお伝えしたいと思います。本当にありがとうございました。

竹下みず穂

ご挨拶 Greetings

私の友人半田晴久博士と世界芸術文化振興協会に対し、「ジュリアード賞」としてここに 結実した、博士らの熱意と先見性に心から賛辞を送り、また篤く感謝申し上げるものです。 1999年から、半田博士はジュリアードの声楽科に、毎年多額の御寄付を下さいました。 そのおかげで、多くの声楽科の学生が、ジュリアードオペラ公演に出演することができた のです。

ジュリアード賞は、世界芸術文化振興協会から再度、寛大なる多額の御寄付をいただいて創設されたものです。当音楽院の声楽教育をさらに強化することになります。このジュリアード賞創設により、半田博士(ご自身が著名なオペラ歌手であり、音楽家でもありますが)は、私達に非常な光栄を授けて下さったと言えます。このコンクールは、日本全国から有望な若手声楽家を集める、貴重な機会となるはずです。

ジュリアード賞は、当音楽院にとっても、いろいろな意味で画期的なものです。まず、 当音楽院が賞を与えるコンクールが、当音楽院以外の場所で開催されたことは今までありません。これは、近年の素晴らしい技術進歩があって、初めて可能になったことです。 衛星中継を通して、ニューヨークの音楽院声楽科教員一同が、現在新進気鋭の日本人声楽家の歌唱を、じっくり鑑賞できることになりました。むろん日本では、東京音楽大学名誉教授、栗林義信教授に特にご協力いただき、声楽部長ブライアン・ジーガーが、訪日して審査員団に加わります。

こうして、世界芸術文化振興協会のご支援を受け、最優秀となった声楽家をニューヨークに招待し、ジュリアードのオーディションを受けて頂きます。もし、万が一不合格となった場合でも、本当はその学生がジュリアード入学を許可されるかより、もっと大切なことがあるのです。それは、ジュリアード賞そのもの、それを体現する志そのものが、両国の橋渡しをすることです。この賞がきっかけとなり、才能ある若手声楽家を見出し、育てようとする気運が、さらに高まることを心から望むものです。

It is with great enthusiasm that I thank the International Foundation for Arts and Culture (IFAC), and particularly our good friend, Dr. Haruhisa Handa, for the imagination and farseeing devotion to the vocal arts that has now borne fruit in the luilliard Prize.

In 1999, Dr. Handa made a singularly generous commitment to Juilliard's Vocal Arts Department that has enabled many exceptionally talented students to perform in Juilliard's opera performances over the years. The development of the Juilliard Prize comes out of another extraordinarily generous commitment from IFAC that will further strengthen Juilliard's educational resources in the vocal arts for the next decade. With the creation of the Juilliard Prize, Dr. Handa – himself a noted opera singer and a devoted musician – has bestowed a wonderful honor upon us. This competition will be a magnificent opportunity to showcase vocal talent from throughout Japan.

The Juilliard Prize represents something quite new for Juilliard – this will be the first time that the judging of any prize at Juilliard will occur remotely, through the technological wonders now available to us. Under the expert guidance of Professor Kuribayashi, professor emeritus of the Tokyo College of Music, we are confident that our distinguished faculty, including the department's director, Brian Zeger, who will join you in Japan for the judging, will deeply appreciate this unparalleled opportunity to hear the finest of current Japanese talent.

In collaboration with IFAC, we will bring the best of these gifted young singers to New York City to audition at Juilliard. Whether or not the winners of the prize are granted acceptance to Juilliard in any given year, the Juilliard Prize, and the dedication to excellence that it represents, will form a bridge between our two countries that will mutually enrich our desire to ensure that exceptional vocal talent is heard and appropriately recognized, wherever it may flourish.



ジョセフ・W・ポリシ ジュリアード音楽院 学長

Dr. Joseph W. Polisi President - The Juilliard School





半田 晴久 Ph.D. NPO 法人 世界芸術文化振興協会 会長

Dr. Haruhisa Handa Chairman - International Foundation for Arts and Culture Opera Singer



ご挨拶 Greetings

このオーディションは、ジュリアード音楽院と世界芸術文化振興協会 (IFAC) が協力して、 若い才能を育てる特別プログラムです。

これまで IFAC では、世界五大バリトンの一人グレゴリー・ユーリシッチ氏と、共同でオー ストラリアにオーストラリアン・オペラ・スタジオ (AOS) を設立し、若き声楽家達が、 世界の一流舞台で通用する実力をつけるべく、ユニークで実践的な教育を行なってきま した。こうして、AOS で実際の舞台経験を重ねたアーティスト達は、AOS を卒業した後、 オセアニア地域の8大声楽コンクールの内、6大会で優勝し、それぞれ世界中のオペラハ ウスで活躍しています。これらの経験をふまえ、オペラ歌手をめざす学生達のために、 今度はジュリアードで新たなプログラムを行なってるのです。

IFACは、1999年にジュリアード音楽院と調印し、10年間声楽科のオペラ卒業公演を支援 しました。この実績を経ての、2009年からのプロジェクトでもあります。

言うまでもなく、ジュリアードは、世界中の音楽家が憧れる音楽の殿堂です。私自身、 40才で声楽を学び始めてから、世界中で30人以上の先生から学びました。音大も2つ 卒業したのです。ジュリアードでも、学長の紹介で有名な二人の先生から、プライベート レッスンを受けました。このときの体験は、本当に素晴らしいものでした。

過去2回のオーディションでは、ジュリアードからブライアン音楽部長が来日され、審 査のほかに、受講者を対象としたワークショップを行いました。このワークショップも、ジュ リアード教育の片鱗をうかがわせる、感動的な内容だったのです。

日本の若き声楽家達にも、ぜひジュリアードで学んで頂きたい。そして、この IFAC の プログラムを通して、世界にチャレンジし、世界の壁を超えて頂きたい。そんな気概と、 才能ある若者のトライに、今年も期待しています。

The Juilliard School and the International Foundation for Arts and Culture are combining to foster young talent.

IFAC has conducted a special program in the past in collaboration with one of the five great baritones of the world, Gregory Yurisich. After establishing the Australian Opera Studio (AOS) a practical and unique program was undertaken there to give young singers the ability to perform on any of the world's top opera stages. Artists at the AOS built up real stage experience through this program. Graduates have taken top prizes in six of the eight major vocal competitions in Oceania and their international careers have taken off. Based on the experience gained from this program, a new program for budding operatic talents will be undertaken at The Juilliard School.

The cooperation between IFAC and The Juilliard School dates back to 1999. IFAC has been supporting opera productions by students of Juilliard's vocal arts department for the last ten years. The new program signifies a further development of the

It goes without saying that The Juilliard School is the primary beacon in the temple to music to which musicians around the world aspire. Since starting opera studies at the age of 40, I myself have studied with more than 30 teachers around the world as a tenor and baritone. I have graduated from two music colleges. I studied with two famous teachers at Juilliard thanks to the president's kind introduction, and I can say my experiences then were absolutely wonderful.

I really hope that young Japanese singers also experience The Juilliard School. And I sincerely hope that through this IFAC program they might try themselves on the world stage and develop into world-class singers.

Attending the sensational competition

The recipient of the highest award in the 2nd IFAC-Juilliard Prize Singing Competition by IFAC

Mizuho Takeshita



Unexpectedly being chosen for the IFAC-Juilliard Prize in this audition is the greatest thing that has ever happened to me. What's more is that through this audition I came upon a definite goal and am now spending every day with a fresh outlook, and I'm truly grateful for that. As a result, I was able to reach a decision to study abroad in New York. By attending the audition, I realized that the experience was more valuable than I thought, and I was impressed by how seriously the sponsors of the audition and the instructors from the Juilliard School of Music considered the vocalists and the future of

At the workshop during the final round, Juilliard School of Music instructor Brian Zeger's words left a lasting impression on me. He said that he "puts great importance on the humanity of the vocalist" and is "always considering the relationship with the audience." The ideas that "the humanity of a vocalist inevitably shows itself in her singing" and "by deepening the relationship between the musician and the audience (society), the art of music contributes to society" had a sobering effect on me as a vocalist.

What further surprised me was that such a great opportunity to receive the same individual instruction as an actual open lesson was offered to everyone with aspirations in music, no matter their age and without charge. While the fact that it was open to the public caused a certain tension in the auditioning vocalists, I felt that it contributed greatly to a feeling of rapport between the vocalists and the audience that was valuable to the audition.

There were times when I attended recitals and auditions without much success, but I was encouraged by the words of those around me that said a new door would open if I persistently continued. By taking up the challenge of this audition, several strokes of good fortune intersected, and I have been given the chance to move on to a new arena. Through the audition, I have learned important lessons, both musical and related to my personal lifestyle.

I would like other people who love singing to receive the same wonderful opportunity. It makes me very happy to think that there will be more fellow vocalists improving themselves and interacting with society through music. Please challenge yourself without apprehension and without fear. In doing so, I'm sure that you will make new discoveries.

In closing, I would like to extend my gratitude to everyone who has cheered and supported me up to now and to everyone involved in this audition. I truly thank you.



Mizuho Takeshita

16

ジュリアード音楽院への提出書類について

Application Requirements for Admission to The Juilliard School

IFAC・ジュリアード最優秀賞受賞者は、ジュリアード音楽院2次試験(最終審査)申込の際、以下の書類をジュリアード音楽院に提出する必要があります。詳しくは、ジュリアード音楽院の公式ウェブサイト「入学申込のための提出書類」を、ご参照ください。

http://www.juilliard.edu/

●申込書

2012年12月1日までに提出。

(2012年12月1日までに、ジュリアード音楽院に届くようにお送り下さい。)

●学業成績証明書

卒業日が記入されたものを、2013年2月15日までに提出。

●エッセイ

申込書の一部として、2012年12月1日までに提出。エッセイのテーマは、ジュリアード音楽院より 指定されます。詳細は、上記のジュリアード音楽院ウェブサイトをご参照ください。

TOEFL

2013年2月15日までに、TOEFLスコアを提出。

入学に必要なスコアは、以下のとおりです。本選通過後、約4ヶ月あります。 その間に、必要な方には英語特訓があります。

準修士コースが 73 点 (iBT) 以上、ライティングセクション 11 点以上、大学院が 89 点 (iBT) 以上、ライティングセクション 21 点以上。

The winner of IFAC-Juilliard Prize must submit the following for admission to The Juilliard School. Please read the "Program Information and Application Requirements" section on Juilliard's website carefully.

http://www.ifac.or.jp/

APPLICATION

Must be submitted by December 1, 2012.

OFFICIAL TRANSCRIPT

Must be submitted indicating that the graduation date is no later than February 15, 2013.

ESSAY

All applicants are required to submit an essay as a component of the Application for Admission. The Juilliard School has specific topics for the essay. These are found on their website shown above.

TOEFL

The minimum required TOEFL score is:

73 (iBT) with a minimum writing score of II for Graduate Diploma

89 (iBT) with a minimum writing score of 21 for Master of Music by February 15th, 2013.

CONTENTS

つ3 ご挨拶: 半田 晴久 (NPO 法人 世界芸術文化振興協会 会長 / 声楽家)

Greeting: Dr. Haruhisa Handa (Chairman - The International Foundation for Arts and Culture / Opera Singer)

04 ご挨拶:ジョセフ・W・ポリシ(ジュリアード音楽院 学長)

Greeting: Dr. Joseph W. Polisi (President - The Juilliard School)

05 ご挨拶: 栗林 義信 (声楽家・NPO 法人 世界芸術文化振興協会 副会長)

Greeting: Prof. Yoshinobu Kuribayashi (Opera singer/ Vice Chairman - International Foundation for Arts and Culture)

06 ご挨拶:ブライアン・ジーガー(ジュリアード音楽院 声楽科部長)

Greeting: Dr. Brian Zeger (Artistic Director of Vocal Arts - The Juilliard School)

7 予選

Pre-screening

08 本選

Final Competition

19 授賞について

Prize

1 応募について

Application

13 第1回 最優秀賞を受賞して 大西 宇宙

Message from Mr. Takaoki Onishi, winner of the inaugural IFAC-Juilliard Prize in 2009

15 第2回 最優秀賞を受賞して 竹下 みず穂

Message from Ms. Mizuho Takeshita, winner of the IFAC - Juilliard Prize in 2010

17 ジュリアード音楽院への提出書類について

Application Requirements for Admission to The Juilliard School

18 特定非営利活動法人(NPO)世界芸術文化振興協会(IFAC)について

About the International Foundation for Arts and Culture (IFAC)





第3回ジュリアード音楽院 声楽オーディション by IFAC

このオーディションは、音楽教育の世界最高峰とされるジュリアード音楽院声楽科に、 才能ある声楽家を日本から送る目的で開催されます。主催は、NPO 法人 世界芸術文化 振興協会(IFAC)。共催は、ジュリアード音楽院による公式オーディションです。

このオーディションの最優秀賞受賞者には、ジュリアード音楽院の1次試験が免除され、2次試験を受ける資格が与えられます。そして、ジュリアード音楽院2次試験に合格した場合、IFACより US5万ドル相当の奨学金、(ジュリアード音楽院授業料1年分、学生寮費用1年分)が授与されます。

「第1回 IFAC・ジュリアード最優秀賞」受賞者 大西宇宙さんは、現在ジュリアード音楽院 に入学し、メインオペラ公演や Juilliard Honors Recital に抜擢され、ニューヨークで 大いに活躍しています。

"IFAC-Juilliard Prize Singing Competition" will be held in Japan. The purpose of this competition is to send talented Japanese singers to The Juilliard School in New York City which is one of the world's best music education institutions.

This competition is officially sponsored by the International Foundation for Arts and Culture (IFAC) and co-sponsored by The Juilliard School., This audition is considered as the first-stage audition at The Juilliard School. The winner will be exempt from taking the first-stage audition and will qualify for a live second-stage audition at The Juilliard School in New York City. If successful, the winner will be awarded a scholarship to the value of 50, 000 US dollars (for one year's tuition and dormitory fees).

Takaoki Onishi, the recipient of the highest award in the 1st IFAC-Juilliard Prize Singing Competition is currently enrolled in the Juilliard School and is having great success in New York, including being selected to perform in major opera performances and the Juilliard Honors Recital.



特定非営利活動法人(NPO)

世界芸術文化振興協会(IFAC)について

About the International Foundation for Arts and Culture(IFAC)

特定非営利活動法人 (NPO 法人) 世界芸術文化振興協会 (The International Foundation for Arts and Culture: IFAC) は、音楽および芸術関連イベントを通じて、社会福祉活動の支援を行うために、1996年に設立された公益団体です。1999年に東京都より、特定非営利活動法人 (NPO 法人) の認証を受けました。

IFAC は、多くの方々のご支持により、2012年3月現在、約2,000人の個人及び法人会員を擁するところとなりました。また、IFACの目的と趣旨に賛同する多数の法人および個人からも、当会の活動に対する様々な形での後援、協賛、ご寄付を頂いております。

海外では、米国IFAC、英国IFAC、オーストラリアIFACが、それぞれ現地法に基づく公益団体として活動しています (米国公益法人、英国公益法人、豪州公益法人)。日本IFACは、これらの海外関連団体と幅広い協力・提携関係を保ち、国内外において様々な芸術、福祉活動を実践しています。

The International Foundation for Arts and Culture (IFAC) is a non-profit organization established for the purpose of promoting social welfare activities through music and arts-related events. Founded in 1996, it was officially recognized as NPO (authorized non-profit organization) by the government of Tokyo in 1999.

After its foundation, IFAC has been greatly supported by a number of people. It has approximately 2,000 individual and corporate members as of March 2012. Many corporations and individuals have given their approval to IFAC's objectives and have contributed, assisted, and supported its activities in various ways.

IFAC has established IFAC-USA, IFAC-UK and IFAC Australia. These organizations are charitable entities in accordance with the laws of the respective countries. IFAC maintains broad cooperative relationships with each of these organizations and carries out art and welfare-related activities internationally in collaboration with each other.











IFAC Opera Sep. 2010, Opera "Nabuc